

研究対象者等に通知し、又は公開すべき事項（情報公開用）

申請番号： 2021-020

① 試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）

- ・ 研究課題名： 人工知能を用いた IVR(Interventional Radiology)におけるデバイス視認性改善法の確立
- ・ 目的： IVR手技におけるAI画像支援システムの開発、その前段階として、開発に必要な至適症例数や至適画像使用方法などを検証する事。
- ・ 研究期間： 臨床研究IRB承認日～ 2023年 3月 31日
- ・ 研究対象： 2007年4月1日～ 2022年 3月 31日

② 利用し、又は提供する試料・情報の項目

埼玉医科大学国際医療センター画像診断科で撮影された胸部動画画像およびDSA(Digital Subtraction Angiography)画像。

③ 利用する者の範囲

画像診断科 馬場康貴 宇佐見陽子 中澤 賢

Preferred Networks 社（東京）

水野和恵、菅原洋平、平野湧一郎、Zhengyan Gao

④ 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

役職 教授 氏名 馬場康貴